

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の令和3年度第3回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 令和3年11月18日（木） 14：00～15：30

開催場所 本庁5階 特別会議室A

令和3年度第3回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

令和3年度第3回北九州市入札等監視委員会

2 開催日時

開催日時 令和3年11月18日(木) 14:00～15:30

開催場所 本庁5階 特別会議室A

3 出席委員(五十音順)

酒井 孝子、田籠 亮博、田村 慶子、松田 亨

4 議事

(1) 令和3年度第2四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

(2) 令和3年度第2四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、令和3年度第2四半期に契約をした工事の中から、森江委員(当日欠席)が10件(契約課契約分8件、西部整備事務所分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 総合評価、一般競争入札による建築工事で、不参加・辞退者数等が多いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 参加申請は7者からあり、別の工事を落札した1者が取消、4者が辞退、1者が不参加であった。辞退の理由は技術者不足、他の工事を落札したこと等によるものである。

(問) 総合評価、一般競争入札による機械器具設置工事で、予定金額が高く、技術点、落札金額が3者のうちどちらも2番目の業者が落札しているため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 全国で5者しか対応できない工事で、そのうち3者が参加した。落札業者は価格が2番手、価格以外の評価点も2番手だった。しかし総合的な評価値が1位となった。価格だけでなく価格以外の要素を含めて落札業者を決定するという総合評価落札方式の特徴が表れている。

(問) 一般競争入札による土木工事で、予定価格が高く、業者数が多いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 47者が参加したが、7者が辞退、40者による競争が行われた。ランダム係数が高かったこともあり、37者が最低制限価格を下回り失格した。最

低制限価格を少し上回った業者が落札した。

(問) 一般競争入札による建築工事で、落札率が高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 2回目の入札で、参加申請は3者、2者が不参加となり、1者のみの入札となったため、予定価格に近い額で落札となった。参加が少ないのは、他の工事の案件に参加した業者が多かったこと、夜間工事等で難しい工事だったことも理由と思われる。

(問) 指名競争入札による管工事で、業者数が多いが、82者を指名しなければならなかった原因を知りたく抽出した。

(答) 2回目の入札で、学校の工事で夏休みと工事期間が限られており、不調対策として、応札状況が良い指名競争入札とし、市内の管工事業業者Aランク、Bランクを指名したため、業者数が多くなった。辞退は45者、不参加は14者であった。最低制限価格を下回った6者が失格となり、最低制限価格を少し上回った業者が落札した。

(問) 指名競争入札による港湾工事で、落札率が100%のため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 28者を指名したが、18者が辞退、7者が不参加となった。3者の競争となったが、3者とも公表している予定価格と同額のため、くじ引きで決定した。予定価格と同額であったため、落札率が100%となった。

(問) 随意契約によるしゅんせつ工事で、1者の随意契約となった詳しい入札状況について知りたい。また、不調の結果であれば積算の妥当性について知りたい。抽出した。

(答) 3回目の指名競争入札を実施したが不調であったため、3回目の入札後に随意契約に移行した。1回目、2回目は応札者なしであった。3回目は1者のみの応札であったため、入札を中止した。応札した業者に見積もりを依頼したところ、見積額が予定価格内であったので契約した。

(問) 特命随意契約による建築工事で、付帯その他工事を特命随意契約しなければならない理由を知りたく抽出した。

(答) 本体の工事と密接な工程管理が必要で、工事車両ルートや作業ヤードが本体工事と重複するため、工事に支障が出ないよう、また、知的障害を持つ児童生徒への安全面の配慮が必要なことから、屋外付帯工事の前の本体工事を契約した業者と特命随意契約した。

(問) 指名競争入札による土木工事で、落札率が高いため、入札状況を知りたく抽出した。

(答) 橋梁の補修工事で、橋は小さいが手作業が多く、手間がかかる工事である。10者指名したが、応札したのは2者であった。作業が多く、コストがかかることから敬遠した業者が多くなり、落札率が高くなった。

- (問) 指名競争入札による造園工事で、予定価格が他の造園工事と比べて高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。
- (答) 道路をまたいで南北に分かれている公園の植栽と広場の整備工事である。17者のうち10者が応札している。草木が生い茂ったかなり広い面積を掘削して、造成することが必要な工事であり、通常の一部の改修、補修といった工事とは異なるため、予定価格が高くなった。